
スクールライフ

輝奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スクールライフ

【NZコード】

N5851Y

【作者名】

輝奈

【あらすじ】

シリーズ2スクール編です

附註（証書類）

いんばんわ、章が変わりながらもシコードとしてまだ続けるつもりでいます

今回の作品にも付録としてくださいれば幸いです。

告白

「やだ。」

告白の返事はすでに分かっていたはずなのに、心がやけに痛む。

「お前！！ 頼むよ～。凛～。」

「バー力！！。」

今日だけで数えればきっと俺が世界で一番フラれている。
本日1~2回目の告白もきっとぱりフラれ、男子からは同情の溜息。
女子からは、安心の溜息が漏れていた。
必要以上に整った顔立ちの凛と翔。

1つ上の夏輝。

彼らは幼馴染であり、学校の中の人気数を3つに分けていた。
特に、この学校の男子のレベルの低さで、翔は全女子生徒の9割
を占める人気を誇っていた。

「ああ、龍夜に頼んでまで俺をひつぱて来たのは誰かな？」

龍夜の名前を出した瞬間あたりが凍りつく。
しかし、その彼女だった夏輝が聞いても、落ち込むことはなかっ
た。

「その私が、告白した直後にお腹を鳴らせたのはだれかな？」

「俺です。」

「はい、おしまい。」

凍り付いていた空気が和む。

肩越しに見える幽靈姿の龍夜君はお茶目に野次馬の男子の1人1人の靴紐を解いていた。

スル

「龍夜、ああ言ひ」となきめなさい!

ええ 晴やかだね。たれもきずしてくれへんねんもん」

ねんもんつて、まちで夏輝にハテをか？
実は成仏でもすに」

「我變いたします。」

星が空に輝く夜道、自転車を転がす凜の隣りには幽霊と幽霊に為つかせている羽がーー。

「そろそろ機嫌直してよ」

あれは

あわせの「」

「ああーー夏輝。どうか行くの?」

۱۰۸

「翔はあれから何回ふられた？」

- 16 四

卷之三

「孰遅れるよ。」

「そうね、行くわ」

二ノノノノ

「やつぱ、俺が見えとらへん。」

悲しげな龍夜を翔がなだめた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5851y/>

スクールライフ

2011年11月21日14時31分発行